



安祥文化のさと

安城市歴史博物館の活用案内(見学学習、職場体験等)

はじめに

安城市歴史博物館は、平成3年2月にオープンし、安祥文化の拠点として、郷土の歴史、民俗、産業などに関する資料の調査研究を行い、その成果を広く市民に紹介する役割を担っています。私たちのふるさとの成り立ち、祖先の生活の様子を示すたくさんの収蔵品を保管しており、展示室ではそれらにふれることで、教科書や図鑑でしか見たことのない世界を広げることができます。

学校での教科・領域の学習内容と博物館の展示資料との関連性をもたせて見学学習計画を作成し、見学学習をより効果の高いものにできるでしょう。歴史博物館では、そのためのお手伝いをさせていただきますので、ご相談ください。

多様な活用が可能です

(1) 博物館見学学習(小学6年、中学2年)

小学生は、常設展示、埋蔵文化財センターの見学や、火起こしや土器さわりの体験を中心に、基本一コマ35分で行います。

中学生は、学級単位の見学・体験の場合、企画・特別展示の見学や青銅器さわりの体験を中心に一コマ25分で行います。その他、講話やDVD視聴などのプログラムも用意しています。

グループ見学の場合は、自由見学となります。



土器さわりの体験(小)



埋蔵文化財センター収蔵庫見学

(2) 社会科、総合的な学習の時間等

(小学3年から中学3年)

社会科の学習に関連した学習資源を学芸員の解説を聞きながら見学したり、実際にふれたりして、実感を大切にした歴史学習をサポートします。



火起こし体験(小)

(3) 博物館の学習資源の活用(小中学校全学年)

① 博物館での活用

常設展などに展示されていない資料や貸出利用リストに掲載されていない資料は収蔵庫に保管しています。

そうした資料の活用について、別途相談にも応じます。

常設展を使って

社会科の授業をしてみませんか



講話

②学校への貸出利用（学芸員の立ち会いが必要な資料あり）

体験用民具を学校へ貸出しています。

生活用具38種、農具20種、戦争当時の生活用品が8種類あります。「見るだけ」、「触ることもできる」、「実用」「実用」に分けてあります。

（4）博物館の人的資源の活用

①見学学習での学芸員、博物館ボランティアによる解説

小学6年生の常設展示見学、火起こし体験では、博物館ボランティアの解説を受けながら見学、体験をします。

企画展・特別展の学級単位での見学の場合、基本的に学芸員が解説を行います。

②学校への出前講座〔学芸員対応〕

校区のウォークラリーや土器作り教室、修学旅行の事前指導に合わせて、仏像や建物の見方などの講話に学芸員が、学校へ出前講座を行います。

③夏休み自由研究相談会〔学芸員対応〕

夏休みに地域の歴史などの研究を計画する場合、研究の進め方、まとめ方などの助言を行います。

④見学学習説明会（市内小中学校の先生方対象）

市内小学6年、中学2年生担任の先生方を対象に、見学学習の下見を兼ね、学芸員の解説を受けながら、学習資源への理解を深めていただきます。見学学習の立案のためにご利用ください。

⑤学校〔現職教育〕、教育団体の研修、相談会

先生方の教材研究のお手伝い、研修会講師をはじめ、歴史博物館学習資源・人材活用等について相談に応じます。

（5）その他

職場体験（中学2年、高校生、教員研修）

3～4日間の職場体験では、「資料整理」、「発掘」「土器洗い、土器作り」をはじめ、「見学学習の補助」、「受付」などの体験プログラムを用意しています。

学芸員や職員の指導を受けながら、特殊な体験とともに、博物館で働く楽しさを実感することができます。



体験用具民具の貸出



博物館ボランティアによる展示解説



青銅器さわり体験 学芸員による解説



発掘体験、土器洗い体験（職場体験）

